. 令和4年度 地球の子ども株式会社

Montessori ちゃいるどはうす中吉田事業報告書

令和5年3月18日 地球の子ども株式会社 代表取締役 乾 泰代

1 保育理念

『Montessori ちゃいるどはうす』は生命の保持と情緒の安定を土台とし、人・もの・自分の3つの視点、および保育指針の5領域(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の相互関係、また、「小学校までに育っていてほしい10の姿」までの総合的関わりを重視している。

モンテッソーリ教育法と自然体験活動を融合させ、世の中のすべての事象に対する興味関心を大切にし、実体験を通して、子どもたち自身が自らの『生きる力』を発見し、伸ばしていくことのできる環境を愛と知識を持って提供する。

2 モンテッソーリ教育とは

マリア・モンテッソーリが 120 年以上前に子どもを観察し子どもの姿を通して提唱した『自己教育力』と『環境』を重視した教育法であり、その理論の正当性は医学や科学の進歩によっても証明され、現代では世界共通で教育の基本となっている。

運動・言葉・意志・知性・社会性・感覚等の発達の課題は、すべての子どもたちに共通しており、その順番はあらかじめ子どもの遺伝子にプログラムされている。すべての子どもたちが生まれながらにもつ『自己教育力』を発揮しながら発達を遂げていくとともに、自分自身の五感を働かせ、動きを通して学んでいくことのできる『安心安全な環境(人、もの、こと)』の保障を大切にする教育法である。

3 事業目的と役割

国から示された「子ども子育て新制度」に基づき養護と教育の一体化を図りながら、子どもと大人が主体的に関わる保育を行うとともに、地域の子育て支援を充実させる。

4 保育所の運営

- (1)沿革
- ・平成 26 年 4 月 小規模保育所 Montessori ちゃいるどはうす草薙 開園
- ・平成27年11月 地球の子ども株式会社設立
- ・平成29年4月 Montessori ちゃいるどはうす中吉田 開園
- (2) 開所日 月曜日~土曜日
- (3) 開所時間 7:30~18:30 (延長保育18:30~19:00)
- (4) 休園日
- 日曜日、国民の祝日及び休日

年末年始(12月29日~1月3日)

法人が特別必要と認めた日

(5)年齡別入所児数(令和5年3月1日現在)

0歳児(プーポ) 12名

1歳児(ピッコロ) 12名

2歳児(ピッチーノ)12名

3歳児 (マーレ) 10名

4歳児 (テーラ) 11名

5歳児 (チェーロ) 9名 合計66名

(6) 職員数(令和5年3月1日現在)

29名

施設長1名 園長兼教育長1名 保育事務主任1名 会計1名 常勤保育士16名 パート保育士0名 保育補助4名 調理員2名 アルバイト1名 外部バイリンガル講師1名 外部モンテッソーリ教育講師1名

(7) 職員資格等

- ・保育士・幼稚園教 諭・小中高特別支援学校教諭・言語聴覚士
- ・栄養士・調理師・レクリエーションインストラクター
- ・幼児体育指導者・モンテッソーリ教育教師・子育て支援員

- · 児童厚生指導員 · 社会福祉主事 · 児童福祉司 · 知的障害者福祉司
- ・家族療法カウンセラー・チャイルドカウンセラー・行動心理士
- ・チャイルドコーチングカウンセラー・保育所長研修修了者
- ·保育所主任保育士研修修了者·整備管理者·防火管理者·衛生推進者

(8)職員会議の開催状況

・職員全体会議(年1回3月) 園の運営方針について確認

年間計画、職員配置、担当・役割分等の検討、

- ・業務会議 (月1回 第4火曜日午睡時) 各行事の確認・内容検討・反省 月案に基づく環境会議
- ・安全管理、ヒヤリハット、事例検討等(随時)
- ・リーダー会議(第2火曜日午睡時) クラス情報交換

園運営に関する事例検討

- ・担当者会議 (毎週木曜日午睡時) 年間計画に基づく月案、週案、
- 環境会議 (毎週木曜日午睡時)
- ・給食会議 (クラス毎4ヶ月に1回火曜日午睡時)子どもの給食時の様子等の把握。

(9) 職員研修についての取り組み

円滑な運営と職員の質の向上を図る為、職員全員参加の職員研修及び園内外研修他 各種研修を積極的に実施

・モンテッソーリ実践講師による保育現場での実践研修

(毎月5日間)

- ・外部専門講師によるモンテッソーリ実践オンライン研修(1歳児クラス以上、月1回) (研修の流れ:歳児毎実践研修の企画書作成→保育室での実践・専門講師の参観 →振り返りのミーティング→報告書作成)
- ・外部バイリンガル専門講師による実践オンライン研修(週1回水曜幼児、乳幼児金曜) (研修の流れ:歳児ごと lessen plan 作成→保育室での実践・専門講師の参観 →フィードバックミーティング→報告書作成)
- ・モンテッソーリ教師養成コース受講

対象職員1名

- ・北関東モンテッソーリ教育研究会0~3歳コース受講 対象職員6名
- (10) 保育計画・記録について

一人一人の成長発達にあった環境づくりをする。

- ・児童票に基づく月案作成(毎月)
- ・月案に基づく週案作成 (毎週木曜日の午睡時)
- ·日報(観察記録0歳~2歳)
- ・午睡チェック表 (毎日0歳児)
- ・食物アレルギー調査票(毎月対象児)
- ・活動記録日誌(3歳~就学前)
- ・児童票記録 (毎月)
- ・ヒヤリハット (随時)
- ・安全管理 危機管理チェックリストリスト (毎月)
- ・次年度引継ぎ表の作成(全園児3月作成)
- ·保育所児童保育要録(5歳児)

(11) クラス編成

【1階フロアー】プーポ組(0歳児)ピッコロ組(1歳児)ピッチーノ組(2歳児)

環境との信頼関係・運動の獲得・言葉の獲得・身辺自立を目標に、個別の発達段階に合わせた 保育を推進するため、個人差の大きい0歳から3歳までの成長を4段階に分けて環境を構成し、 個々の発達段階に応じた保育環境の実現を図る。

- 1段階目 歩けるようになる
- 2段階目 10歩くらい安定して歩けるようになる。
- 3段階目 座って手指の活動ができるようになる。言葉が増える。
- 4段階目 着脱、排泄、食事など日常生活の自立に向かって、自分の事を自分で やりたいと思うようになる。

【2階フロアー】マーレ組(3歳児)テーラ組(4歳児)チェーロ組(5歳児)

日常生活の練習・感覚教育・算数教育・言語教育・文化教育(自然、音楽、美術、体育、理科、 社会、食育)などの各分野の専門的な援助を行う。

運動機能をより洗練し、お友達と一緒に知的好奇心を探求していく就学までの縦割クラス。

(12) 給食の実施

安心安全な楽しい給食の提供に努めるとともに、子どもが生活と遊びの中で意欲を持って食に関わる体験を積み重ねる。

(0歳児) 園児の発育状況に合わせ、離乳食から普通食への段階別給食の提供

(1歳児以上) 園児の発育状況に合わせ、完全給食の提供

(2歳児以上) バイキング給食→(コロナ対策として一時停止)

(全園児) おやつの提供

(特別給食) 行事ランチ・年度末お弁当ランチ・戸外活動用お弁当

豊かな食の環境を目指し、トライアルメニューとお楽しみおやつの提供たいは

を継続

(保護者) 給食参観会→ (コロナ感染予防対策として中止)

給食献立の毎月配布

本日の献立の写真掲示および明日の献立表示 (毎日)

食事が子どもの身体だけでなく健やかな心の発達を促す場であると捉え、以下のことを大切にしている。

- ① 食事が楽しい時間となるよう努める。
- ② 離乳期を大切に過ごす。
- ③ 子どもが自分の量や、好みの選択ができるよう考慮する。
- ④ 子どもが「食べたくない」時があることを大切に考える。
- ⑤ 守るべき食事のルールを伝える。
- ⑥食べ物を粗末にしない。
- ⑦ 食事を処罰に使わない。
- ⑧ 栄養士・保育士による献立(食品および栄養素)の説明 バイリンガル Day は英語で紹介

(13) 健康管理

- ・医師による園児の健康診断 (村上小児科:村上仁医師 年2回)
- ・歯科医師による園児の歯科検診 (かめやま歯科:亀山太一医師 年2回)
- ・静岡県予防医学協会による園児尿検査 (年1回)
- ・歯科衛生士による歯みがき巡回指導 (年1回 3歳児以上)
- ・フッ化物洗口 (平日給食終了後 4歳児以上)
- 緑茶うがいの実施 (乳児クラス)
- 手洗い、消毒の徹底
- ・身体測定 (月1回)
- ・職員の定期健康診断 (年1回)
- ・職員の検便検査 (月1回)

(赤痢菌・サルモネラ菌・病原性大腸菌0-157・腸チフス・パラチフス)

・コロナ感染予防対策として健康チェック表の記録開始

(14) 保護者との連携

保育は保護者と共に子どもを育てる営みであり、子どもの24時間の生活を視野に入れ、保護者の気持ちに寄り添いながら家庭との連携を密にしていくことが大切である。積極的に乳幼児の子どもの育ちを支え、保護者の養育力向上につなげていけるように 以下の方法で『食事』『生活リズム』『衛生』『健康』『子育てについての精神的不安解消』のアドバイスを実施する。

- ・相談室の利用(常時)
- ・ホームページでの情報公開と更新(常時)
- ・コロナ対策として玄関前特設掲示版での情報公開と更新(常時)
- · 連絡帳 (随時)
- ・園だより(月1回)今年度よりモンテッソーリ教育コラム開始
- ・クラスだより(季節ごと年4回)
- ・その他お知らせ(不定期)
- ・苦情解決システムの継続
- ・地域の各機関との連携
- ・面談(必要に応じて随時)
- ・年度末アンケートの実施

(15) 発達支援(個別の支援の検討・計画・実施・反省、言語指導)

すべての子どもにそれぞれの個性があるように、その成長の仕方も様々である。同じ環境であ

っても困り感を抱え、それをうまく表現することが苦手な子どももいる。保育園という集団生活の中で、個々の成長や気持ちに寄り添い、子どもが自立していくために必要な支援を保護者、保育士、指導担当との相談の上、個別に支援を行う。

- (16) 地域との交流
- ・近隣住人・春日整備・HFC・日本平動物園・石崎金属株式会社
- ・消防署、美術館、ショクザイ、スター精密(コロナ感染予防対策として見送り)
- ・海外からの視察訪問受け入れ、子育て支援員研修、保育実習生、 ボランティア活動の受け入れ(小中高校生・大学生・専門学生等)
- ·職場体験学習(城内中学校2名)
- (17) 施設の整備・管理・安全点検
 - ・1階保育室(棚の取り付け)
 - 園庭遊具整備
 - ・施設整備(トイレドア、エアコンの保守点検、給食室吸排口の取り付け)
- (18) 機能強化推進事業 総合防災対策のための必要な修繕・物品管理
 - ・食料・水の点検(全園児・全職員3日分購入点検済み)
 - ・避難用具(救助袋)設置・災害時用品の点検
 - ・AEDの設置1台(毎年更新)の点検
- (19) 非常災害防止の実施計画
 - ・避難訓練 毎月1回(地震火災不審者) 総合防災訓練年1回
 - · 交通訓練 園外活動時毎回実施
 - ・静岡南警察署交通安全指導員による交通安全教室(幼児クラス)
- (20) 第三者委員会
- ・掲示板、ホームページによるご意見・ご要望・苦情についての窓口の設置、 および、回答の徹底(待合室掲示または、ホームページにて公開)
- (21) 感染症予防対策
 - ・次亜塩素酸を使い床、トイレ、教具の消毒(1日2回実施)
 - ・おむつ交換時、使い捨て手袋を使用
 - ・紙おむつ自園処分(持ち帰りなし)
 - ・加湿空気清浄器を各クラスに設置 常時稼働
 - 温湿度計
 - ・洗濯物を分けて洗濯(床拭き、床以外、次亜塩素酸用雑巾)
 - ・細めな水分補給の実施
 - ・手洗い、うがい指導の実施
 - ・職員用ウエストポーチの購入と配布

【コロナウイルス感染予防対策として関係するもの】

- ・健康チェック表の記録
- ・駐車場での園児の送迎
- ・バイキング給食の中止
- ・給食時の間隔をあけて対面にならないテーブル使用
- ・ 黙食の徹底
- ・乳児の歯みがきの中止
- ・職員と幼児のマスク着用
- ・消毒液を各クラスと玄関ドア前に設置
- ・接触型体温計の再導入
- ・フェイスシールド、不織布マスク(大人用 子供用)の購入
- ・緑茶うがいの実施(乳児)
- 年間行事の見直し
- (22) 防災対策
- · 駿河区消防署監查 (4月) 防火管理者 園長 乾 泰代
- ・ 首藤商会の第三者確認
- (23) 行政監査(9月)

5 令和4年度保育目標

『自分のことが自分でできる子』 『いろいろなことに挑戦できる子』 『やさしく強い心を持った子』

3つの保育目標を柱として新保育所保育指針の5領域である健康/人間関係/環境/言葉/表現を基に、歳児別目標を設定した。

(1) 歳児別目標

0歳児・保育士と基本的信頼関係のもと、色々な遊びを楽しむ

・一人ひとりの生活リズム(食事、排泄、睡眠)で心地よく過ごす

・歩行ができるようになり、探索活動を盛んに行う

1歳児 ・探索活動を楽しみ、周りの環境に興味を持つ

・保育士と一緒に食事や排泄、着脱を繰り返す中で自分で出来る楽しさを味わう

・自分の思いや気持ちを保育士に伝えようとする

2歳児・全身(体・指先)を動かして保育士、友だちと一緒に遊ぶことを楽しむ

・基本的生活習慣(排泄・着脱・身支度)の自立を目指し身の回りのことを自分でしようとする

ごっこ遊びや模倣遊びを楽しみ友だちとの関りを広げる

・自分の思いを言葉や行動で伝える

3歳児 ・興味を持って取り組み経験を増やす

・身支度や後始末を自分で行う

・異年齢での集団遊びや生活を楽しむ

4歳児 ・経験したことを生かし自ら挑戦する

・自分のやるべきことが分かり自分から行動する

・自分の気持ちと相手の気持ちの違いを知り友だちと関わる

5歳児・自分に自信を持ち様々なことに挑戦する

・自分で考え行動することができる

・お友だちの気持ちを知り協調しながら問題解決をしていく

6 特別教育

(1) モンテッソーリ教育

子どもの発達の課題は共通していても、発達の速度や個々の興味関心は様々であるという『モンテッソーリ教育法』の考え方をベースに、子どもが個々の発達に見合った環境と主体的に関わりながら成長できるように環境を整えた。

1年を通して様々な教具や教材に触れ、経験を積み重ねあらゆることに視野を広げながら、「自分で出来た」という自信と意欲向上に繋げる。

毎日の生活の中で、発達段階に応じて以下の分野の活動を展開した。

教育分野	活動内容
日常生活の練習	生活に必要な活動を通して自分の身体を意志通りにコントロールする能力を養う。
感覚	感覚体験の整理をしながら観察力や思考力を身に着け、感覚器官を洗練していく。
言語	語彙を豊かにしながら、最終的には文法を意識した母語の理解力と表現力を養う。
算数	量や数への興味が出てきた頃に具体的な教具を使って数の法則や計算方法を学ぶ。
文化	歴史、地理、地学、動・植物、等、多様な興味の種蒔きをしていく総合学習の場
平和	他者との違いを受け入れ、互いに尊重し協力しながら思いやりや平和への思いを育む。
音楽	世界の音楽を楽しみ、聴く事、歌う事、踊る事、楽器を鳴らす事などで表現する。
美術・造形	目と手の協応動作の獲得を促し、思いのまま自由に表現する事を楽しむ。

(2) 自然教育

子どもたちが自然の不思議さや素晴らしさに出会い、発見する機会をできるだけ多く提供 し、ありのままの自然を体験しながら、自然の一部である自分を愛する心と尊い自然を守る気 持ちを育む。

生物室

幼児クラスの生物室では、園庭で見つけたバッタやあおむし、ダンゴ虫等様々な生物に興味、 関心を持ち、子どもたちが「生物係」の役割をもって飼育。 園庭隅に「生物のお墓」スペースを作り、「生」から「死」まで責任をもってお世話する気持ちを育む。

(飼育している生物)・魚類:金魚 メダカ

• 両生類: ウーパールーパー

・昆虫類:カブトムシ クワガタ ・蝶の幼虫

・鳥類:セキセイインコ

・その他:カタツムリ サワガニ ザリガニ

畑

畑	
月	内容
2月	ジャガイモ植え付け:(3歳児以上)
4月	夏野菜の種まき・植え付け:トマト・きゅうり・ピーマン・赤しそ
- / -	・とうもろこし (3歳児以上)
5月	ジャガイモ堀り:(1歳児以上)
	クッキングでポテトサラダに使用予定 (3歳児以上)
	→コロナ感染予防対策として中止 給食室で調理
	A MAN TOWN COLUMN TO THE MAN A CHARLE
	★ジャガイモ堀り:(2歳児以上)
	さつまいも植え付け:(3歳児以上)
6月	夏野菜収穫(1歳児以上)
0)1	○トマト・・例年であればその場で試食
	○トマト : 州午じめればての場で試良 ○よっこり 国宝マスのよよ社会
	○きゅうり : 園庭でそのまま試食
7月	例年であればクッキングでたたききゅうりにして試食
	(1、2歳児)
	○オクラ : 茹でて試食
8月	コロナ感染予防対策として試食中止 給食室で調理
	○オクラ・ピーマン
	: 断面を切って形を見て楽しむ。
	中身の観察 、野菜スタンプに使用
	コロナ感染予防対策として試飲中止 (3歳以上)
	しそふりかけ作り(5歳児)に変更
	○とうもろこし: 収穫後乾燥させ、一粒ずつ取り出しポップコーン作り(2歳児)
9月	冬野菜植え付け
	○ブロッコリー・白菜・キャベツ・カリフラワー(4歳児)
	○大根 : 種まき (5歳児/1人1本の自分の大根を育てる)
10月	★ 落花生収穫
1071	
	★○さつまいも堀り (1歳児以上) (2歳児以上)
11月	: 例年はクッキングでスイートポテトに使用予定(1、2歳児)
	: 乳児はふかして試食 幼児はスイートポテト作り・試食
	: 焼き芋大会 焼き芋試食(全クラス)
12月	→コロナ感染予防対策として中止
	: つるでクリスマスリース作り (3歳児以上)
	冬野菜収穫
1月	○ブロッコリー・白菜・キャベツ・カリフラワー
1 月	: 茹でて試食
	: 給食室で調理する
2月	○大根 : 1人1本自分の大根を収穫し持って帰る(5歳児)
	給食室で調理
	○はるみ : 試食(全園児)
	★大根 収穫 (年長児)
	○じゃがいも種芋の植え付け (4歳児以上)
	★: 塚本農園での体験

★:塚本農園での体験

花壇

子どもたちが自由に摘んで、保育室に飾りやすい草花 (摘んだあとも次々につぼみがつく、茎が長い、茎が強い、開花時期が長い) の種類を主体に植栽。

季節	植栽種類			
春	チューリップ、ムスカリ、ビオラ、姫金魚草など			

夏	マリーゴールド、日日草、金魚草、ジニア、トレニア、ブルーサルビアなど
秋~冬	マリーゴールド、ジニア、千日紅、コリウスなど
通年	触って香りを感じられるハーブ(ローズマリー、レモンバーム、タイム)
12 月	チューリップの球根植え付け (クラスで色を決定)

※外の壁面下は危険防止も含めプランターを並べる(春、秋2回季節の苗を植栽)

※園庭ドングリの落ち葉で、腐葉土作り。秋のチューリップ植え付け時に使用

散歩

中吉田公園、中野号公園、矢田宮ノ後公園、矢田思慕広場、県立美術館、熊の公園、国吉田公園、瀬名川南公園、瀬名川公園、ひょうたん塚公園、清水山公園、ふれあい広場、園周辺、静鉄電車の線路まで

遠足

4月 親子イチゴ狩り遠足 中吉田公園、中ノ郷公園、谷田宮の後公園、谷田芝生広場、県立 美術館、熊野公園、国吉田公園、瀬名川南公園、瀬名川公園、ひょうたん塚

10月 日本平動物園おにぎり遠足(幼児クラス)

川遊び

7月~9月 塚本農園近くの長尾川の親水公園にて川遊び (ピッチーノ以上児)

(3) バイリンガル教育

これからの国際社会を生きていく子どもたちのための外国語体験プログラムを展開する

対象	0~5歳児
	・日本語以外の言語に親しむことを通して、他者との違いや文化の多様性への興
目的	味関心を育む。
	・英語を使ったコミュニケーションを楽しむことを通して、積極的に他者と関わ
	ろうとする意欲を育む。
	・日本語以外の言語を使う体験をし、国際社会で活躍していくための素地を育む。
	・フォニックス音を体験できる LessonPlan 環境との整備
	・日本語以外の言語を母国語とするバイリンガル講師と毎日一緒に生活し、日常
内容	的 に関わることのできる環境を用意する。
	・バイリンガルの時間を設定し、英語にふれ、発音を聴きとったりするとともに
	幼児クラスでは、聞いた音と文字とを結びつける活動を行う。(フォニックス)
	・日常生活の中で、大人も子どももバイリンガル講師との簡単な英語でのコミュ
	ニケーションを楽しみ、「伝わって嬉しい」体験を増やす。
	・スペシャルプログラム(年長児)
	フォニックス音をアルファベットに対応させながら小学校に入学するまでに読
	み書きの土台を形成する。

(4) プログラミング教育

対象	年長児					
目的	・自分なりの目的はゴールを決め、それを達成するために必要な動きを順序だて					
	て論理的に考える力を高めていく					
内容	・自己認知力を高める運動や遊び					
	・コマンドを組み合わせてプログラムする体験					
	・ロボットを使ったプログラミング体験					
	・プログラミングロボットに接続可能なパソコンの基本操作					

(5) 音楽リズム

対象	幼児クラス
目的	楽しく音楽と触れ合いながら、こどもの心と体の発達の可能性を広げる。
内容	・音楽を体全体で感じ、楽しむ「感性リズム遊び」(トータルリズム) 毎月1回

(6) リーベ式運動遊び (室内)、ボルビ (屋外) その他外部講師による特別教育

対象	3~5歳児 (本年度は2歳児が体験実施)
目的	・室内や屋外で思い切り身体を動かし、リズムやバランス感覚を始めとした
	様々な運動の調整能力を高める。

	・友だちと一緒に活動することを通して仲間と協力する喜びや貢献感を得て自ら の存在価値を感じる。
内容	・子どもの「興味」「関心」「意欲」を自然に引き出し、思い切り身体を動かすことができるようにイメージ(物語)に入り込んで遊ぶ。 ・グループやチームになって活動する中で、互いに動きを観察したり応援したりする ・月に2回(リーベ式、ボルビを各1回ずつ)1回45分程度 ・外部講師による実施

(7) 日本文化体験

1 - 1 - 41-11	V.
対象	2~5歳児
目的	・華道、書道、茶道等、日本独特の美しく豊かな文化を体験し、和を尊ぶ心を養う
内容	 ・華道 生け花、フラワーアレンジメント ・書道 毛筆 ・茶道 煎茶をいただく作法 ・幼児クラス 週1回(華道、書道、茶道のいずれか) 45分2歳児クラス 月1回(フラワーアレンジメント) 30分程度 ・外部講師による実施

(8) スイミング

対象	3~5歳児
目的	・水に親しみ、着替えや、準備運動や入水などの水泳の基本を身につける。 ・大きなプールで水泳を楽しむ。
内容	・年間15回 1回1時間(バスによる送迎有) ・中田スイミングスクール指導員による水泳指導

7 特別教育等計報告(1) モンテッソーリ教育費会計

_ , , ,	7 1011100				
収入			支出		
項目	金額 (円)	備考	項目	金額(円)	備考
保護者徴収費	726,459	毎月一人 1000 円 (今年度はコロナ対 策による自粛期間は 日割り計算)	外部講師代 教具代金 職員研修参加 費	1,000,000 737,714 100,000	英語·言語· 感覚·絵本教 材他
計	726,459		計	1,787,714	

園負担 1,061,255円

(2) バイリンガル教育費会計

収入		支出			
項目	金額 (円)	備考	項目	金額(円)	備考
保護者徴収費	726,459	毎月一人 1000 円 (今年度はコロナ対 策による自粛期間は 日割り計算)	外部講師代内部講師代	500,000 2,969,240	英語・言語・ 感覚・絵本教 材他
計	726,459		計	3,469,240	

園負担 2,742,781 円

(3) スイミング徴収費会計

収入		支出			
項目	金額 (円)	備考	項目	金額(円)	備考
保護者徴収費	450,000	1人1回 1,000円	中田スイミン グ	450,000	
計	450,000		計	450,000	

園負担 0円

(4) 日本文化体験会計

収入		支出			
項目	金額(円)	備考	項目	金額 (円)	備考
保護者徴収費	0		外部講師代 教材費	75,000 82,973	
計	0		計	153,453	

園負担 153,453 円

(5) リーベ式運動遊び会計 (7月より実施)

収入		支出			
項目	金額 (円)	備考	項目	金額(円)	備考
保護者徴収費	0		外部講師代	425,100	
計	0		計	425,100	

園負担 425,100円

(6) ボルビ運動遊び会計(11月より実施)

	収入			支出	
項目	金額 (円)	備考	項目	金額 (円)	備考
保護者徴収費	0		外部講師代	129,120	
計	0		計	129,120	

園負担 129,120円

(7) コロナ対策による行事の DVD 作成

収入		支出			
項目	金額 (円)	備考	項目	金額(円)	備考
保護者徴収費 (撮影料)	58,000		運動会 はばたきの会	77,000 77,000	
計	58,000		計	154,000	

園負担 96,000

8 令和4年度主な行事

月	内容
4月	親子遠足イチゴ狩り遠足
5月	こいのぼり集会 幼児動物教室
6月	積み木教室(2, 3歳児) 音楽会 ジャガイモ掘り(ピッチーノ以上児)
7月	七夕集会 七夕・交通機関を利用しての清水の七夕見学(幼児組) →コロナ感染予防対策として中止 積み木教室(4.5歳児) 交通安全教室:静岡南警察署(幼児) 川遊び開始(2歳児以上)
8月	川遊び スイカ割り大会 夏祭り 夏期希望保育
9月	夏フェス 川遊び終了 保育・給食参観会(9月~12月) 落花生の収穫 (ピッチーノ以上児)
10 月	落花生の収穫 (ピッチーノ以上児) 日本平動物園おにぎり遠足(幼児クラス) ハロウィン
11月	草薙と合同運動会:中吉田公園 (2歳児以上) 粘土教室 (3歳児以上) サツマイモの収穫 (ピッコロ以上児)
12月	クリスマス会 大根掘り (年長児) 歯みがき巡回指導 (3歳児以上) 手作りお弁当の日
1月	鏡開き バイリンガル国際交流~スリランカ~(幼児クラス)
2月	節分 環境学習(3歳児以上)(リサイクルぐるぐるプロジェクト参加) バイリンガル国際交流〜ミャンマー〜(幼児クラス) はばたきの会
3月	ひな祭り バイリンガル国際交流〜ネパール〜 (幼児クラス) お弁当ランチ お別れ遠足(ひょうたん塚公園、芝生園地) 卒園式

9

職員処遇についての新たな取り組み ・職員退職金制度の整備(中小企業退職金共済)